

(様式1) <b>平成19年度 事務事業評価表</b>						
記入年月日	平成19年3月26日	記入者		連絡先	042-684-3211	
平成18年度部名	市民部	課名	相模湖市民課	課長名	榎本 昭男	
平成19年度部名	市民活力推進部	課名	相模湖市民課	課長名	柳川 要造	
事務事業名	戸籍住民事務運営事業					
予算上の事務事業名	戸籍住民事務運営費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード			
基本目標	#N/A					
政策名	#N/A					
基本施策名	#N/A					
施策名	#N/A					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
住民基本台帳法 印鑑登録法						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	住民票、印鑑登録証明書等の発行 印鑑登録証(さがみはらカード)の暗証番号登録の普及					
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	窓口・相談 ▼			5 事業開始年度	平成17年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
暗証番号を登録した「さがみはらカード」を作ると、平日は閉庁後も午後8時まで、土・日曜日、祝日は、午前8時30分から午後5時まで、自動交付機を使って、住民票の写し、印鑑証明書、課税証明等が取得できるので、市民の利便となる。また、自動交付機の利用が増えれば、窓口事務の減少となる。				市民		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
平成19年2月1日から自動交付機が設置された。自動交付機が設置されたことにより、開庁時間はもとより閉庁後も利用可能となるため、旧印鑑登録証を持参された方全てにパンフレットを配布し、PRを行いご協力をお願いした。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
(平成19年3月2日現在)						
相模湖市民課 419件						
津久井市民課 1,345件						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	1,544	5,520	5,698	5,698	
一般財源	0	1,544	5,520	5,698	5,698	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	55	3,018	2,683	2,683	
事業コスト合計	0	1,599	8,538	8,381	8,381	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	住民票、戸籍謄抄本、印鑑証明及税証明等の交付 戸籍届出、住民異動届の受付処理等			対象名称 と単位	市民	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	1,599	8,538	8,381	8,381	
対象数	0	10,354	10,253	10,253	10,253	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	154	833	817	817	
前年度比		#DIV/0!	5.39	0.98	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	暗証番号登録者数	指標式と指標の説明	前年度末件数 - 前々年度末件数 = 増加数 増加件数を把握する		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	48.0	454.0		
目標	0.0	0.0	480.0	360.0	240.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	94.6		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	暗証番号登録者数	指標式と指標の説明	今年度末件数 - 前年度末件数 = 増加数 本年度360件増としたい		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	48.0	454.0		
目標	0.0	0.0	480.0	360.0	240.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	94.6		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [ A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない ]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [ A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない ]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [ A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い ]					
A	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [ 有・無 ]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[ ] : 良好な状態を維持する事業				
	[ ] : 概ね良好な状況である事業				
	[ ] : 見直しを行う必要がある事業				
	[ ] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		さがみはらカードの暗証番号登録についてさらに推進する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
旧印鑑登録証を持参された方全てにパンフレットを配布し、説明を行う。			若い市民の方は、暗証番号を登録されるが、年配の方は「さがみはらカード」に交換するが、暗証番号は登録しないケースが多い。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			